

都市安全確保拠点
整備計画の
詳細はこちら



鳥飼地区河川防災
ステーションの
詳細はこちら



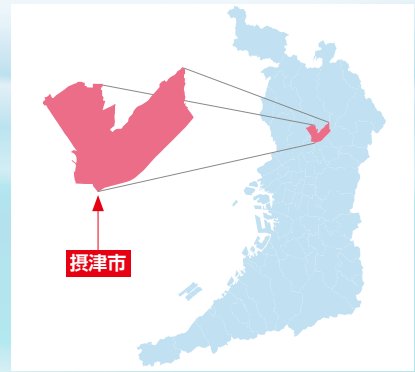
摂津市で推進している「高台まちづくり」は、浸水しない安全な場所への事前の広域避難を原則としつつ、特に広域避難が難しい障がい者や乳児等の避難行動要支援者等の生命と身体を守るための高台にした避難場所をまちづくりと一体となって確保するもので、その避難場所である「高台」をネットワーク化し、長期化する浸水被害からさらに安全な場所に避難したり、救出できるようにします。

都市安全確保拠点整備計画

令和5(2023)年3月に「都市安全確保拠点整備計画」を策定しています。

淀川、安威川の水害時に広域避難が困難な避難行動要支援者等が一時的に避難できる施設を建設します。対象は「とりがいこども園」「河川防災ステーション」「水防センター」で、これら施設は「一団地の都市安全確保拠点施設」として、災害時における居住者等の安全を確保する拠点となります。

平常時は、地域コミュニティの形成・強化・活性化、地域のにぎわい創出、子育て世代あるいは子ども同士の交流促進、地域防災力の向上等に資する複合型交流拠点、地域子育て支援拠点等として活用していきます。



鳥飼地区河川防災ステーション

1 概要

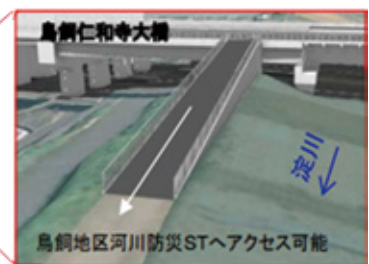
鳥飼地区河川防災ステーションは、淀川の洪水被害を最小限とするため、国土交通省が災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等の整備を行うと共に、摂津市が水防センターを設置するなど災害時の活動拠点となる施設です。

摂津市では、周辺施設の高台化及び河川防災ステーションとの接続による高台まちづくりを推進するとともに、地域のイベント時の休憩場所、防災訓練や防災教育の場としての活用など、平常時の利活用を推進することで、地域の賑わいづくり及び地域の防災に対する意識向上を図ります。

2 整備内容

国土交通省：盛土造成、
緊急復旧用資材の備蓄、
ヘリポート等

摂津市：水防センター



出典：国土交通省

民間企業や市民に期待することなど

高台まちづくりはすぐにはできるものではなく、また高台で地域の市民等全員を受け入れることは出来ませんので、水害発生の際の恐れがある場合は、事前の広域避難をお願いしています。なお、河川防災ステーションの上部施設となる水防センターの平常時の機能や河川防災ステーションの平常時の利活用については、今後、鳥飼まちづくりランドデザインにおけるまちづくりの一環としてワークショップ等を通じて検討していきたいと考えていますので、是非ご協力をお願いします。

